

平成25年度 社会福祉法人ゆめネット事業報告

1 監事監査の実施

定款第11条の規定により、監事による監査を次のとおり実施した。

(1) 実施年月日

平成26年5月22日（木） 午後4時～午後5時30分

(2) 実施監事氏名 早川直也 仮屋和博

(3) 実施した監査の内容等

① 前年度における理事の業務の執行状況について

次の日時に開催された理事会に出席すると同時に、理事の業務の執行状況について確認を行った。

ア 平成25年 5月30日（木）

イ 平成26年 3月24日（月）

② 平成24年度法人の財産状況について

平成25年5月30日（木曜日）に開催された評議員会、理事会に出席し、「平成24年度の法人の財産状況等については『監事監査重点5項目指針』に従って監査の結果、社会福祉法人ゆめネットの事業報告、決算報告書、決算付属明細並びに財産目録は、適正であると認める。」との報告がなされた。

2 評議員会の開催

開催日時	議案とその結果
平成25年5月30日（木）	1. 平成24年度事業報告案について ⇒ 同意 2. 平成24年度決算報告案について ⇒ 同意 3. 平成25年度以降の新しい取り組みについて ⇒ 同意 4. その他報告事項 理事長決済事項の報告 ⇒ 同意
平成25年9月25日（水）	1. 長期運営資金の借入れについて ⇒ 同意 2. その他 平成25年度の取り組み報告 ⇒ 同意
平成26年3月24日（月）	1. 定款変更（基本財産の増加）について ⇒ 同意 2. 定款変更（定款準則の合致）について ⇒ 同意 3. 平成26年度ゆめネット事業計画案について ⇒ 同意 4. 平成26年度ゆめネット収入支出予算案について ⇒ 同意

3 理事会の開催

開催日時	議案とその結果
平成25年5月30日(木)	1. 平成24年度事業報告案について ⇒ 承認 2. 平成24年度決算報告案について ⇒ 承認 3. 平成25年度以降の新しい取り組みについて ⇒ 承認 4. その他報告事項 理事長決済事項の報告 ⇒ 承認
平成25年9月25日(水)	1. 長期運営資金の借入れについて ⇒ 承認 2. その他 平成25年度の取り組み報告 ⇒ 承認
平成26年3月24日(月)	1. 定款変更(基本財産の増加)について ⇒ 承認 2. 定款変更(定款準則の合致)について ⇒ 承認 3. 平成26年度ゆめネット事業計画案について ⇒ 承認 4. 平成26年度ゆめネット収入支出予算案について ⇒ 承認

平成25年度 生産活動及び就労支援事業等活動報告

授産科目名	活動内容	従事者数(最大時)	取引先等	売上額
委託事業Ⅰ (わりばし作業)	業者より「わりばし」と「はし袋」、「ビニール袋」をお預かりし、「わりばし」を「はし袋」に入れ、それらを100～200本ごとに「ビニール袋」へまとめて詰めるといった作業内容となる。	利用者：21名 支援者：8名	顧客 ・藤本商会側 ※開所以来のおつきあい	月額 約5,500円
委託事業Ⅱ (野菜の袋詰め)	ゆめとまとの主たる仕事。ご縁のある八百屋さんより野菜と袋を受け取り、詰め込んだものを納品する作業。	利用者：14名 支援者：5名	顧客 ・愛幸商会	月額 約3,500円
弁当製造事業	ボタンカフェ提供分の仕込み、事業所の昼食夕食等を請け負って製造している。一日100食以上を調理・配下膳している。	利用者：6名 支援者：2.5名	仕入れ先 ・一般スーパー他 販売先 ・ゆめネット ・ボタンカフェ等	月額 約600,000円
焼き菓子等製造 販売事業	就労継続支援B型事業所として活動を行う焼菓子工房『ぽこあぽこ』の主たる仕事。主に焼き菓子を製造販売。同じ就労部門内の各店舗で販売をする他、訪問販売や移動販売などの無店舗販売が中心となっている。	利用者：6名 支援者：2.5名	仕入れ元 ・広栄商会他 販売先 ・店頭販売、近隣の学校・企業など	月額 約300,000円
カフェ・アイリス 事業	三井住友海上名古屋ビル内のカフェ・アイリスの運営を委託される。8時半から17時半の営業。固定客が中心で安定した経営をしている。上記ぽこあぽこの製品や、フェアトレード商品を仕入れて販売するなど、新しい取り組みにも挑戦している。	利用者：4名 支援者：2.5名	仕入れ元 ・山本コーヒー ・一般商店他 販売先 ・カフェ店頭 ・ビル14階	月額 約250,000円
しらかわバー 事業	上記のカフェ・アイリスの出張所のような形で実施している事業。アイリス同様、三井住友より委託され、同社所有のコンサートホール内のカフェバーを請け負って実施している。		仕入れ元 ・アイリス同様 販売先 ・一般顧客	月額 約150,000円
はちみつカフェ 事業	下記のボタンカフェが開店するまでは法人内唯一の食事を提供する店舗であった。提供する飲食物、サービスと、利用者が関われる範囲等が課題であった。	利用者3名 支援者3名	仕入先 ・UCC他 販売先 ・一般顧客	月額 約220,000円
ボタン cafe	中産連ビル1階のビル内喫茶を受託経営している。昨年度7月オープンで主にランチを中心に提供	利用者5名 支援者3名	仕入先 ・UCC他 販売先 ・一般顧客	月額 約380,000円

平成25年度 社会福祉法人ゆめネット 各種行事等 ※主だった年次行事を抜粋

月	行 事 等	実施内容等
4 月	入所式&歓迎昼食会	新通所生の歓迎式典を、中川文化小劇場にて実施。式典後には各部署で歓迎パーティを。
5 月	新人職員等歓迎会&懇親会	毎年恒例の職員歓迎会を実施。部署ごとのボート大会の後、懇親会を開催。
4～5 月	個別支援面談（本人・保護者・職員）	新年度の支援方針及び家庭での様子等について個別に面談。
5 月	ゆめさぼキャンプ	ゆめさぼ主催の就労キャンプを開催。BBQ や野外レクなどで就労利用者同士交流を深める。
5 月	就労部交通安全講習	ひとり通所や、実践中に運搬業務がある就労の利用者を対象に交通安全講習を実施。（11 月にも実施）
5～9 月	中川区ふれあい広場実行委員会 参加	10 月実施の中川区ふれあい広場の実行委員会へ参加。広報・ステージ部会を担当する。
6 月	西養護学校実習生受け入れ	こあら・とまとにて西養護学校 3 年生の社会（職場）体験実習の受け入れを実施。
7 月	ゆめネットふれあいまつり実施	地域の柳森公園を貸し切って、野外映画上映会とふれあいバザーを実施。400 名を越える方が来場。
7 月	福祉人材フェア出展	福祉人材センター主催の求職フェアへ出展。生活支援員等の募集を実施。
7～8 月	中川区育成会等実習生受け入れ	中川区手をつなぐ育成会の実習生等を生活介護及び就労部門にて受け入れた。
7～10 月	こあら一泊旅行実行委員会開始	10 月の一泊旅行に向けて実行委員会をスタート。行き先や旅程等の企画を実施する。
9 月	とまと一泊旅行	宿のマイクロバスを活用して、松本城など、長野への一泊旅行を楽しんだ。
10 月	中川区障害者と区民のふれあい 広場参加	実行委員施設としてこあら・とまとにて参加。ふれあい大合唱及び模擬店に利用者・職員等で参加。
10 月	こあら北陸一泊旅行	観光バスを貸しきっての一泊旅行となった。温泉宿でのんびりしつつ、各日 1 回の観光等を楽しんだ。
10 月	就労部一泊旅行	昼神温泉への一泊旅行。妻籠馬籠の他、日本一きれいと言われる星空を楽しんだ。
12 月	とまとクリスマス企画	とまとでは毎年恒例のクリスマス企画としてイルミネーション等を楽しんだ。
12 月	ゆめネットスタッフ懇親会	今年度より全体での忘年会から、各部署での忘年会へと変更した。
1 月	成人式&お祝い会	ウイंकあいちにて開催。就労支援事業も当日は休止し、式典とランチパーティを実施。
3 月	次年度新通所生実習受け入れ	生活介護及び就労部門において、次年度よりの通所予定者の実習受け入れを実施。

平成25年度 社会福祉法人ゆめネット 職員の異動・採用及び退職について
採用

開始日時	職名	氏名	経歴	年齢
平成25年4月1日	ゆめとまと生活支援員	奥村奈穂美	大学新卒	22
平成25年6月1日	ヘルパーチームゆめさぼ職員	山川貢広	中途	25
平成25年9月1日	ゆめとまと生活支援員	新井常三	中途	36
平成26年1月1日	ゆめとまと生活支援員	山田綾人	中途	30

退職

退職日時	職名	氏名	理由	年齢
平成25年7月31日	ゆめとまと生活支援員	成瀬竜二	自己都合	29
平成26年1月31日	コアラハウス生活支援員	大村 正	自己都合	22
平成26年1月31日	生活介護部門生活支援員	江尻雅志	自己都合	35

平成25年度 社会福祉法人ゆめネット 職員研修について

日時	研修名	研修内容	参加者数
6月	新会計基礎研修	社協主催の新会計基準導入に向けての初級研修。新会計基準の基礎を学ぶ。	1名
6月	新任職員研修	社協主催の新人職員向け研修。主にマナーや社会人としての基礎知識を学ぶ。	2名
6月	救急救命研修（普通）	社協主催の救急救命普通研修。現場で起こり得る事故等に備えた基礎的知識を学ぶ。	1名
6月	成年後見活用講座	成年後見制度について具体的な事例や、実施方法について学ぶ。	1名
7月	人材育成研修	社協主催の人材育成研修。人手不足と言われる福祉業界における職員育成等を学ぶ。	1名
7月	サービス利用計画作成研修	社協主催のサービス利用計画研修。相談支援との関係で学ぶサービス利用計画の実務。	1名
7月	行動援護従事者養成研修	NPO 法人主催の行動援護従事者養成研修。主に外出支援の場での支援について学ぶ。	1名
7月	愛知県自閉症協会 自閉症支援にかかる初級研修	自閉症協会主催の自閉症支援の専門研修。構造化についての初級研修	1名
7月	自閉症の医療的支援	自閉症児者に対する医療的な支援や服薬等について学ぶ研修。	1名
7月	地域連携推進研修	社協主催の地域連携推進研修。社会の課題を地域連携で解決していく手法、アイデアを学ぶ。	1名
8月	障害者福祉制度研修	社協主催の障害者福祉制度研修。総合支援法における支援制度について学ぶ。	1名
8月	相談支援員現任研修	愛知県主催の相談支援従事者現任研修。相談支援従事者を対象にした現任研修。	1名

9月	苦情相談事業研修	社協主催の苦情相談研修。利用者等から寄せられる苦情をどう活用し解決するか学ぶ。	1名
9月	防災研修	社協主催の防災研修。東日本大震災の支援者より実際の現場から見た防災対策を学ぶ。	1名
11月	障害福祉施設中堅研修	新人支援スタッフ及びヘルパーの育成、教育方法にかかる技術習得のための研修講座	1名
8～2月	相談支援員初任者研修及びサービス管理責任者研修	全3日間に及ぶサービス管理責任者研修への参加。就労、生活介護等について学ぶ。	1名
12月	救急救命研修（上級）	社協主催の救急救命上級研修。福祉現場であり得る救急救命について学ぶ。	1名
12月	相談援助技術研修Ⅱ	社協主催の相談援助技術研修。相談支援における援助技術について実例を元に学ぶ。	1名
12月	ケアホーム勉強会	JCCI主催のケアホーム・グループホーム研修。ホームをめぐる課題について実務者同士で学ぶ。	2名
1月	サービス管理責任者研修	県主催のサービス管理責任者研修。就労部門のサビ管資格取得のための研修。	2名
1月	予算・会計対策研修	社協主催の予算会計対策研修。社会福祉法人の予算や会計の仕組みについて学ぶ。	1名
2月	アメニティフォーラム	フォーラム実行委員会主催による研修。全国の福祉事業所が集って最先端の福祉を学ぶ。	5名
2月	世話人研修	社協主催のケアホーム等世話人研修。世話人実務や世話人の実情について情報交換し学ぶ。	2名
3月	ふわりんクルージョン研修	JCCI主催のふわりんクルージョン研修。就労からホームまで幅広いテーマについて学ぶ。	4名

また、上記の研修以外に、法人の職員を対象にした施設内研修を実施した

1. 新人職員研修（お概ね3年目までの職員を対象に実施）

日時：4月～9月の全6回実施

内容：ゆめネットの歴史、障害福祉制度、障害特性など 新人職員として必要な知識全般

講師：法人内管理者等

参加者：ゆめネット職員 9名

2. 工賃向上研修（工賃向上の視点からマネジメント全般を学ぶ）

日時：4月～9月の6回実施

内容：工賃向上の視点からマネジメント全般について学ぶ

講師：株式会社インサイト インストラクター2名

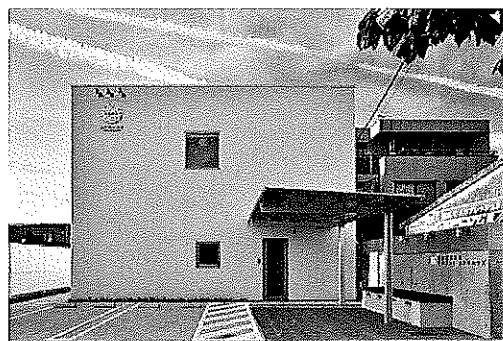
参加者：ゆめネット職員及びパート 10名

平成25年度 社会福祉法人ゆめネットへの苦情及びクレーム受付状況について
なし

■コアラハウス（生活介護）活動報告

平成 25 年度は 1 名の仲間が加わり、新たなコアラハウスがスタートしました。

前期の大きな変化は、6 月に第 1 コアラハウスが花池の拠点から、中郷の新拠点に移転した事です。移転にあたり、環境の変化が利用者さんへの精神面に影響などするのではないかと心配しましたが、仲間達は新たな場所へすぐに適応し、快適な生活を送る事ができました。



第 3 コアラハウスでは、本格的に『紙漉き』を新たな仲間達の取り組みのカリキュラムにしました。初めは手探りの状態が続き、はがきなどを作成しましたが、完成度は低い状態でした。その為、専門店などを訪問し、道具などを変更することで、最近は完成度も満足いく物も出来つつあります。今後も仲間達と試行錯誤ではありますが、紙漉きから色々チャレンジができるのではないかと考えております。



行事として 9 月には、利用者さん 8 名で岐阜のキャンプ場へ行き、のんびり癒しの『生活介護キャンプ』を実施しました。

水遊び、バーベキュー、動物との触れ合い、森林浴など普段できないことを色々と体験できました。コアラハウス全体としては、10 月に福井へ『1 泊旅行』へ行き、恐竜博物館やかまぼこ工場でちくわを作る体験などができました。全体的にゆったりしたスケジュールを組んだ事で、利用者さんもゆったり行動ができました。



継続して行っている活動としては、『スキップ』という体育教室へ通い、引き続き、より専門的な活動が行う事ができました。

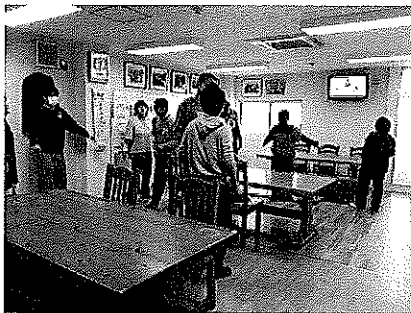
今後も『あなたらしく わたしらしく』利用者さん一人ひとりが輝けるように努めてまいります。



■ゆめとまと（生活介護）活動報告

平成 25 年度を振り返りますと、念願のグループホームのスタートと、ゆめチャレ（ボタン cafe）の新たな取り組みが印象深いものです。

グループホームでは、ゆめとまとから男性 3 名の仲間が参加しております。新生活の期待や、色々な不安がありましたが、仲間の思いのマップ作りなど、ゆめさぼ・日中と連携して準備をしてきました。不安のほうとは裏腹に、仲間の導入もスムーズで、日中でみる仲間の表情も充実した表情になっていっている印象です。これからも、より良い生活を目指して、取り組んでいく次第です。



またゆめチャレでは就労のスタッフと連携して、男性 1 名の仲間が参加することができました。はじめはこちらのスタッフが付き添い仲間も緊張した表情でしたが、すぐに cafe の環境に慣れて取り組むことができています。今では、一人でテキパキ盛り付けや皿洗いなど充実した表情で活動でき、ゆめとまとでもボタン cafe の影響で張りのある通所になっています。もちろん、とまと全員で応援をしに、ボタン cafe に行かせていただきました。

同時に、日常のルーティンワークも見直しつつ、朝のウォーキングを取り入れたり、またお昼休憩では、アニソンエクササイズ（アニメの曲でダンスをする）など取り入れたり試行錯誤しながら、仲間の皆さんの活動を支援しております。

年々、成長していく仲間にとって、合った活動を今後も皆さんに提供できるよう、準備を重ねていきたいと思います。

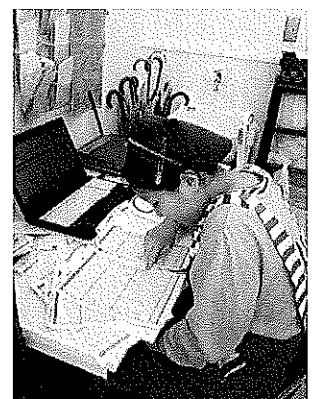
■就労部（就労継続 B 型）ぽこカフェチーム活動報告



昨年度は、はちみつカフェ・ぽこ あ ぽこ・アイリス・しらかわバーが一つのグループになり、新しい体制での支援と店舗運営になりました。

新体制にもすぐに慣れ、毎日忙しく業務に取り組んでいた利用者さんたちですが、仕事だけではなく、毎年恒例の「キャンプ」（滋賀県青土ダムエコーバレイ）、「一泊旅行」（信州・星空ツアーとくだもの狩り）、「花見」（中

村公園）など仕事以外でも、とても楽しむことができた 1 年でした。



運営面では、4ヶ所の離れた店舗が、孤立しないように連携を意識しての取り組みをおこない、各店舗において、就労を希望する多くの利用者さん達がチャレンジできるしくみづくりを考えてきました。

現在、数名の利用者さん達がはりきって新しい仕事にチャレンジしています。

その中で“はちみつカフェ”を“ぽこ あ ぽこ”のSweets ショップに移行することとなりました。

現在“ぽこ あ ぽこショップ” 開店に向けて準備を進めているところです。

利用者さんたちがここで「働きたい」と思える、楽しくやりがいのある場所になるように26年度も皆で知恵を出し合って進んで行きたいと思います。



■就労部(就労継続B型)Flap・ボタンチーム活動報告

昨年度の就労部の大きな出来事として平成25年7月1日より、パートナーシップサポートセンター様の仲介の元、東区の中産連ビル内1階にある喫茶スペースの経営を『ボタンCafé』として任されるようになった事が挙げられる。

ゆめネット利用者が増加するに従い、利用者それぞれの立場に立って考えれば考える程、障がい程度を単純に重度・軽度で分けられない事に気付かされる。障がい程度をさらに細分化した場合に中間に位置する利用者(法人内名称：ゆめちゃれ)が、生き生きと働く事が出来、存分に能力を発揮できる日中活動の場になる事を狙いに、ボタンCaféとして経営に踏み切ったと言える。

現在4名の利用者が日替わりで毎日1~2名カフェ業務に携わっている。スタートして約1年、馴染みのお客様からも温かいお言葉を頂くようになり、業務としては安定している。

目下の課題は、お客様に飽きさせぬようコンスタントに新メニューを提供する事である。

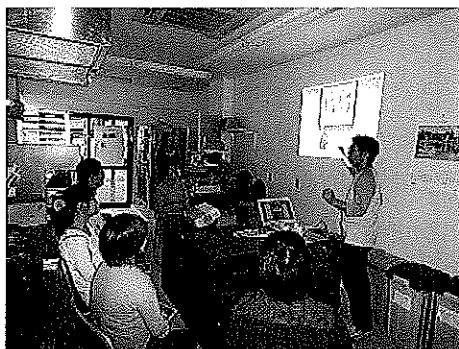


また『はちみつカフェ』が3月14日をもって閉店した事も大きな出来事として挙げられる。

同カフェを気に入ってくれて足繁く通うファンの方もいたが、焼き菓子の評判も上々の『ぽこあぽこ』の商品を直接販売できる空間の整備を前提に、利用者が多く関わって個々の能力が発揮できる空間として『はちみつカフェ』を一旦休業し、近日中



に新展開としてスタートが切れるよう現在業者も交え話し合っている最中である。



就労部全体としては、昨年に引き続き仕事外での取り組みも充実させるべく、様々な企画を設けて利用者に参加してもらっている。

その一つとしてゆめネット施設近隣のゴミ拾い活動をおこなっている。

また、交通事故のリスクを少しでも減らすべく年に2回、交通安全講習も開催している。

ゆめネット就労部門の方針は、“目先の工賃よりも安定して通所できる環境整備”と考える。これからも利用者一人一人が生き活きと光り輝ける場が提供できる部門として、常に利用者の立場に立って考える事を忘れず、ワクワク感を盛り込んだ日中活動の在り方を追求していきたい。

■ゆめれん（相談支援）活動報告

ゆめれん相談支援事業が始まり2年が経ちました。自分自身も少しずつですが、経験を重ねるごとに相談支援専門員らしく現在では、約90名ぐらいの方々の計画相談をしています。

相談支援では、計画相談を中心に行っております。ゆめネット方々を中心に行っておりますが、地域の方々の件数も増えてきております。そして、今年度から障害児相談支援も始まりました。相談支援の役割も重要になってきていることを実感しております。

現在は、中川区自立支援協議会や今年度から相談支援部会も始まりました。部会では、各事業所の相談支援員さんとの意見交換・中川区の地域課題・ケーススタディを行っております。自分自身、良い刺激となり相談支援員としての役割を認識し利用者さんが「一人一人合ったサービス」を目指していきます。

相談件数もこれから増えてきますが、本人さん・親御さんのご意向に基づきながらサービスの調整や地域の方々と連携を大切に進めていきたいと思っております。

平成26年度より、ゆめネットでも法人内相談支援をスタートしました。サービスの依頼・相談・緊急支援などサービスの調整を迅速に対応できるように各現場・地域との連携を図っていき相談支援としての役割を果たしていきます。

今後、地域との連携も視野に入れていきながら、ゆめネットとしての地域の役割も見つけ出していきたいと思っております。

■ヘルパーチームゆめさぼ（移動支援・行動援護・身体介護他）活動報告

平成 25 年度のゆめさぼの活動の大きな動きとしましては、チャレンジホームの開始に伴うヘルパー派遣と緊急支援体制の確保がありました。安心・安全についてホームの世話人さんと確認しながら、定期的にホームヘルプに入るスタッフが緊急時の対応に駆け

つけるなどタ方の支援者を安定的に配置することが出来ました。この部分につきましては、今後の住まいの支援を見据えさらに支援体制を整えていきたいと思っております。

余暇活動では、日中のお出かけを中心に利用者さんの年齢やライフスタイルにあった活動や定期通院、理髪付き添いなど幅広く実施することが出来ました。

また創作活動の一環のダンスクラブでは、生活介護のレクリエーションの時間をお借りしダンスの発表会を行い、最後には観客の利用者さんと演者の利用者さんとが入り混じれた合同ダンスとなり皆さんの誇らしげな表情をしていたのが印象に残っています。

短期入所の美ら風リゾートでは住まいにつながる場所を意識し、食事のバランスの見直しや、美ら風での過ごし方など再度見つめ直す年となりました。導入したタブレット端末で好きな動画を見る方や、雑誌を眺める方。コミュニケーションやTVを楽しまれるかたなど、過ごし方も幅広くなっていると感じます。



来年度はホームへの継続的な支援と、住まいを見据えた活動の中で連泊などのニーズにも応えることが出来る仕組み作りに取り組んでいく予定です。

■ぽるとわーる（ケアホーム）活動報告

平成25年7月より5名の仲間と共にスタートしました、ゆめネット初となる住まいの場である「ぽるとわーる」も、早いもので1年近くが過ぎようとしています。

始まる前より美ら風リゾートにて連泊を通してシュミュレーションを行っていたのもあり、仲間達にもスタッフにも、それ程大きな戸惑いなく開始する事が出来た印象です。しかし、やはり仲間にとっては全く未知の場所である為、最初は落ち着かない様子が多々見られました。中には始まってすぐに体調を崩してしまう仲間がいたり、帰ったように荷物を持ってドアを見つめている仲間がいたり、家庭と環境が違いすぎるのかな、精神的なストレスがあるのかもしれないなど、いろいろ感じました。

それでも日を重ねる毎に自分の部屋という認識が定着し、また自分の落ち着ける場所や過ごし方と言うものを、仲間たちは見つけ出していきました。そしてお風呂に入りたいとかお茶が飲みたいとか、自分の意思を出してくれるようになり、少



しずつ慣れてきた証が伺えました。

また、以前より体験利用という形で利用されていた就労部の方が、3月より正式にぽるとわーるの仲間になりました。それによって仲間同士でのコミュニケーションというものも生まれてきて、より一層賑やかになりました。



そんなぽるとわーるですが、やはり他の現場とは時間帯が全く違うので、その分日中やご家庭との伝達・報告がとても大切であるという事を、この1年間改めて感じました。仲間のちょっとした様子の変化など、報告等徹底して、安全で安心できる場を確立して維持していけるように、スタッフ一同心がけていきたいと思います。